

保健・医療社会学研究会への御案内

あけましておめでとうございます。

さて、最近、保健・医療問題が社会問題として大きくとりあげられ、この分野の研究者が増加しており、昨秋の日本社会学会大会における「保健・医療社会学」は大なる成果もあげました。私どもは、保健・医療社会学研究会の結成の機が熟したと考へ、別紙Ⅰのとおり、第1回研究会を開く計画を立てました。御多忙中恐縮でございますが、万障お繰り合せの上、御参加下さいますようお願いいたします。

この研究会は別紙Ⅱの規約によって運営したいと存じますので、当日御参加頂けない場合にも、御入会頂ければ、次回以後の御連絡等もいたします。なお、この御案内は別紙Ⅲの名簿の方々に発送いたします。名簿に載っていない方々を含めて、同業の方々をお誘いあわせの上、御参加下さいますようお願いいたします。

1994年1月5日

発起人 那須亨一(代表)

安倉正夫 三友謙夫

藤原武夫 山手茂

杉政孝 米林喜男

園田恭一 米山桂三

中本博通

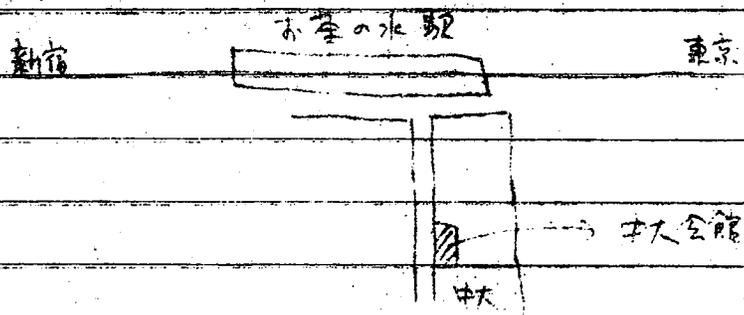
別紙 I

保健・医療社会学研究会 (第1回)

1. 日時 1月21日(月) 5時30分～8時

2. 場所 中央大学会館

3. 報告 園田恭一氏「保健・医療社会学の構造」



別紙Ⅱ

保健・医療社会学研究会規約

1. (目的) 保健・医療の社会的研究の交流および共同研究の推進をはかる。

2. (事業) 前項の目的を達成するため、次の事業を行なう。

(1) 月例研究会

(2) 共同調査研究

(3) 会報の発行

(4) その他 本会の目的を達成するために必要な事業

3. (役員) 本会の運営のために、世話人若干名をおく。

世話人の任期は1年とし、会員の互選によって選出する。

4. (会費) 会員は、年毎1000円の会費を納入する。

5. (事務局) 事務局は、当分の間、東京都神経科学総合研究所社会学研究室におく。

6. (附則) その他、会の運営上重要な事項は、世話人会または月例会にはかって決定する。

別紙Ⅲ 名簿



前 答

保健・医療社会学研究会の会員名簿を印刷する時期ですが、先生からはまだアンケートのお返事を頂いておりません。当座御入会頂けるものと存じ、いま一度お願いいたします。折返とし、お送り下さい。

なお、万一、お送り頂いたのにこのお願いをした場合は、当方の手違いか郵便事故です。悪しからず御諒承の上、いま一度お送り下さいますようお願いいたします。

1974. 5. 8.

事務局

直 伸 アンケートの項目は下記のとおりです。

1. 氏名 住所
2. 所属
3. 兼務先
4. 保健・医療社会学関係の主要な研究業績
5. 現在の研究テーマ
6. 保健・医療社会学研究会の運営についての意見

## 保健、医療社会科学研究会の運営方針について

様

本研究会は、発足以来半年余りの間に、会員は（右記  
 こと、月例研究会も軌道に乗り、ほぼ実体ができてい  
 ってきたように思われます。他方、研究会の運営を民主的  
 にしてほしいという要望も聞かれます。

そこで、今秋の日本社会学会大会前後には、できるだけ  
 多数の会員の参加がえられる形で総会を開催し、規約決  
 定、役員選出などを行なう必要があると考えられます。

本来ならば、発起人の皆様にお集り頂き、総会開催・  
 規約決定・役員選出などの方針を御相談すべきですが、  
 御多忙の方が多いためと考慮して、とりあえず那須、小手  
 の二人で相談して、次のような案をまとめました。発起  
 人の皆様の御意見をあうかがいし、大きな修正がなけ  
 れば、会員の皆様に御提案したいと予定しています。もし  
 必要があれば、発起人会でも検討して頂きます。御意見  
 をお聞かせ下さい。

案 (1) 総会（設立総会）は2回に分けて開催する。

① 日本社会学会大会の際、約1時間、予備の総会を開催  
 （地方会員の連絡の意見を聞くため）

② 11月16日（土）、東京で1日、本総会を開催

(2) 研究会規約は11月16日の本総会で決定する。

(3) 役員選出は、本総会またはその後（郵送投票）行なう。

なお、会員名簿は8月中旬に印刷を終了予定で、作業中です。

発起人の皆様の御賛成が与えられた後に、総会の準備にかかりたいと予定しています。特に、11月16日(土)に予定している本総会のプログラムには、シンポジウム、共同調査計画などが考えられますが、この点についての御意見もお寄せ下さい。

勝手なお願いはかりいたしまして恐縮でございますが、折返し、お返事下さいますよう。

1974. 7. 30.

那須 宗一

山手 茂

# 保健・医療社会学研究会 結成総会・シンポジウムの御案内

本年1月以来、社会学・医学・看護学・社会福祉学などの研究者が集まり、月例研究会を中心にして、保健・医療社会学の研究活動を進めてまいりましたが、下記によって本研究会の正式の結成総会を開きます。同時に、「保健・医療社会学の課題と方法」についてのシンポジウムを行ないます。

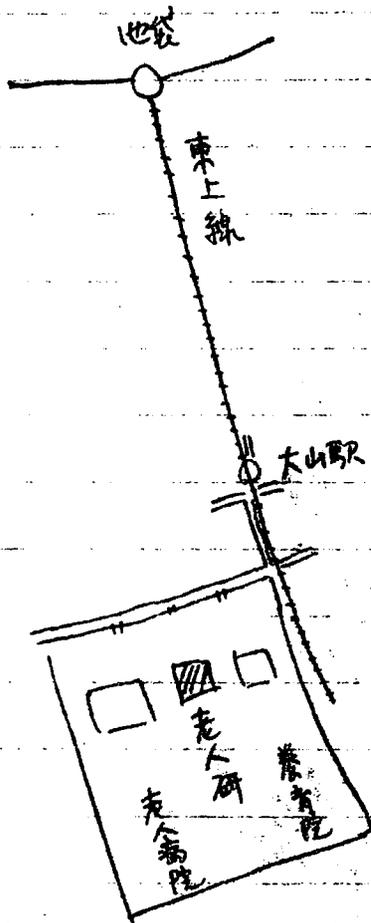
お誘いあわせの上、御参加下さい。

## 記

1. 日時 11月16日(土) 10時～16時
2. 場所 東京都老人総合研究所 (別紙地図参照)
3. プログラム 10時～12時 保健・医療社会学研究会結成総会  
12時～13時 昼休み  
13時～16時 シンポジウム
4. シンポジウム テーマ「保健・医療社会学の課題と方法」  
報告1. 「課題—日米の比較を中心に—」  
日本大学教授 実食正夫  
2. 「方法—老年期の課題を中心に—」  
中央大学教授  
都老人研副所長 那須宗一
5. 参加費 司会 東京医科歯科大学 篠原 武夫  
順天堂大学 米林 喜男  
会員・一般参加者 500円 学生 200円

保健・医療社会学研究会 発起人代表 那須宗一

# 会場案内図



- (注) 1. 世袋から東上線各駅停車の電車にお乗り下さい。  
(三つ目の駅です)
2. 大山駅下車、進行方向の踏切りを渡り、線路沿いに  
進んで下さい。数十メートルで右側に老人研のあやキャン  
パスが見えます。
3. 橋内地図が入口にありますから、参照して下さい。
4. 会場は老人研の会議室です。当日掲示します。

東  
京  
都

# 保健・医療社会学研究会 結成総会・シンポジウム 計画案

## I. 日時

11月16日 10時～16時

## II. 場所

東京都老人総合研究所 (東上線 大山駅下車) 5階

## III. プログラム

※1案 10時～12時 結成総会 (2時間)

12時～13時 昼休み (1時間)

13時～16時 シンポジウム (3時間)

※2案 10時～12時半 シンポジウム (2時間半)

12時半～13時半 昼休み (1時間)

13時半～16時 結成総会 (2時間半)

## IV. 結成総会の議題

### (1) 研究会規約の審議・決定

1. 事業内容 — 月例研究会, 共同調査, 会報, セミナー (総会)

2. 役員構成 — 名称・世話人の理事 or 運営委員

任務分担・代表, 事務, 会計, 企画, etc.

3. 役員選出方法 — 話しあいか, 投票か

医学系の定員を設けどか — 比率は何割か

### (2) 具体的な課題

1. 役員選出 — 当日決定 or 運営委員決定

2. 事業計画 — 月例会の曜日・時間・場所

共同調査研究

## V. シンポジウム計画

案1 課題を中心に

1. 公害病

2. 老人 → 医療と老人

3. 職業病

4. 難病

5. 精神障害

医療

医療社会学の課題  
- 日本と比較  
医療社会学の課題  
- 老年期の課題

案2 医学と社会学、社会科学との関連を中心に

1. 保健科学、公衆衛生学と社会学、社会科学

2. 病理学、基礎医学と社会学、社会科学

3. 臨床医学、医療問題と社会学、社会科学

4. 看護学と社会学、社会科学

案3 隣接分野の研究組織との関連

1. 社会医学研究会

2. 医学史研究会

3. 土曜会 (保健婦・看護婦・MSW 等)

4. MSW協会